

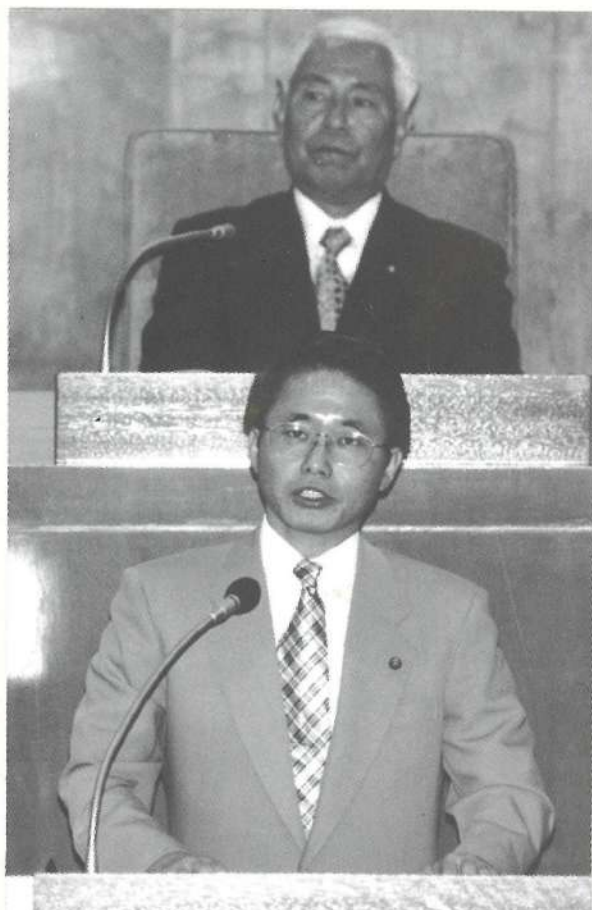


誠心ファミリー 第3号

発行日 平成8年3月20日
 発行者 誠心会会長 下采一彦
 呉市本通6-2-23 ☎0823-25-0460

谷本誠一、呉市議会 当選後初の一般質問

累積赤字9億5千万円！ 市営バスの民営化を！！



▲本会議場で質問する谷本誠一議員(下)

平成7年9月18日、定例議会本会議の場において谷本誠一市議会議員は、保守系改革派「市民クラブ」を代表し、当選後初の一般質問を行いました。

その中で谷本議員は、呉市営バスが車社会への目まぐるしい状況変化に立ち遅れ、毎年乗車人員が減少の一途をたどり、経営を圧迫している現状を踏まえ、今後の見通しについて見解を尋ねました。

平成6年度決算では、経常赤字が4億4千万円にも上るところを、土地売却益等で2億2千万円にまで赤字幅を縮小。それでも累積赤字が9億5千万円にも達しました。しかも経常収支の中には、無料優待バス分として、市民の税金から5億9千万円が持ち出されています。このような事態から脱却するためには、民営化や民営移管を含めた検討委員会を早急に設置し、打開を図るべきだといたしました。

それに先立ち谷本議員は、浜松市の市営バス民営化の経緯を現地調査して来ました。それによると、民営化しても、路線が廃止される等の市民への悪影響はなく、敬老優待制度も存続、バスの現在地を知らせるロケーションシステム導入を初めとして、市民へのサービスは向上しています。ちなみに浜松市では敬老優待制度として、70才以上の高齢者一人に対し、年額6千円分の回数券を発給しています。

健康づくりとしての敬老優待制度の存続を！

また、昭和57年に呉市営バスから独立して、現在民間委託している蒲刈町営バスでは、当時年間2千8百万円の赤字だったのが、民間活力を導入しての経営努力が実を結び、民間委託した初年度から黒字に大転換。しかも平成3年度から導入した敬老優待制度では、70才以上の高齢者に対し、一人年額わずか2千4百円として積算、血税からのバス会計補てんを最小限にとどめています。

それに比べ呉市では、69才以上の高齢者に対し、年額いくらかとして積算しているのかと尋ねたところ、市は2万3千円になると答弁。谷本議員は、敬老優待制度はバス救済金としての色彩が濃いと喝破。70才からバス支給のような小手先の改革ではなく、歩くことが健康づくりと生きがい対策に貢献することもあり、所得制限も含めた抜本策を検討すべきと指摘しました。

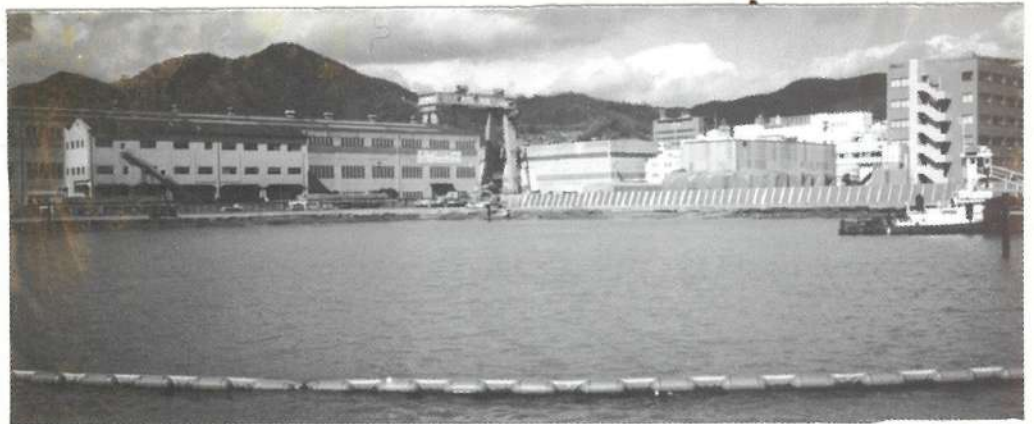


▲昭和61年に浜松市営から移管された民営バス

マリノポリス特別委員会

宝町埋め立て地区に海事博物館の誘致を!!

平成7年6月定例議会中に行われたマリノポリス対策特別委員会で、谷本誠一議員は委員として、海事博物館（仮称）の誘致と、中央棧橋とJR呉駅をつなぐ動く歩道敷設の2点を要望しました。



▲平成6年度末より埋め立て護岸工事に着工した宝町地区

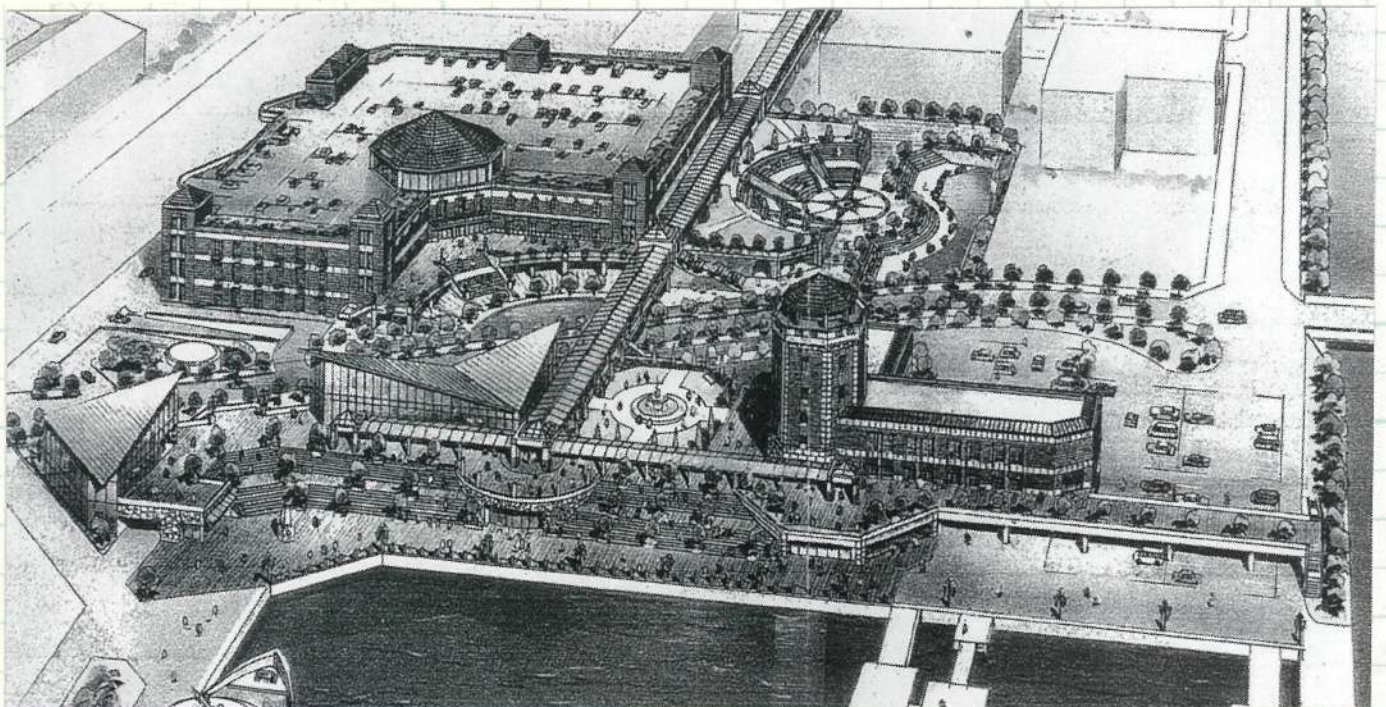
呉市は来る21世紀を目前に控え、新

たな土地創出を海に求めた港湾型の平和産業都市を目指しています。その柱が呉マリノポリス構想であり、具体的には阿賀大入沖埋め立て事業と中央棧橋周辺の宝町地区整備事業です。

平成8年3月には、JR呉駅南地区（貨物ヤード跡地）を市が主体となって区画整理を進める都市計画が決定。更に4月下旬には、旧勤労会館と海員会館を複合させた「ビューポートくれ」がオープン、地ビールの製造即販体制が整います。これは、今回の宝町埋め立て地区とJR駅南地区を一体的に整備し、併せて、ビューポートくれを中継点とし中通・本通商店街へ人の流れをつくることによる、同商店街との共存共栄を図るものです。

宝町地区は、海の玄関としての中央棧橋を再建し、若者の集える街として、商業アミューズメント施設を民間誘致、公共施設としての緑地公園を整備しイベント広場として活用、地下には駐車場も建設します。また海岸通りかもめ橋から延長している臨港道路を、バブコック日立のそばを迂回するのではなく、自衛隊、宮原地区へつなぐ宝橋へ直線で結ぶ道路を建設します。

ところで呉市では、旧軍港の歴史を活かし、戦艦大和を建造した旧海軍工廠の造船技術をメインとした資料を編さん中。県立海事博物館の誘致を県に要望していますが、建設用地は未確定です。谷本議員は、宝街地区を呉市の顔として人が集える街にするには、商業施設に加えて観光施設が不可欠と指摘。呉海上自衛隊や旧鎮守府長官官舎・入船山記念館と江田島町の旧海軍兵学校への中継拠点としての位置づけから、博物館は宝街地区が最適と訴えました。加えて、JR呉駅との一体化を促進するために、中央棧橋から歩く歩道を呉駅まで敷設して欲しいと要望。建設コストを十分考慮しながら、前向きに検討するとの市の答弁を引き出しました。



ポートピア再建5ヶ年計画に呉市が支援策!

平成7年6月定例議会において、平成4年度オープン以来累積赤字が3年間で38億円にも上った(株)呉ポートピアランドの再建5ヶ年計画を呉市が支援することを決定しました。

ポートピアランドは阪急電鉄(株)を筆頭株主として、33の会社や県を含めた団体が出資して設立した第3セクターです。呉市は第二株主として初年度のみ5億円(出資比率20%)を一般会計からつぎ込みました。呉市はポートピアが倒産することによる経済への悪影響を懸念した上での総合的見地から、①同社の土地使用料を5年間免除②前々年度の遊具機固定資産税額分を5年間事実上補助——の2点を柱とする支援策を議会側に提示。併せて会社側もリストラを進めた上で、これまで年間80万人の集客動員数見込みの予算を、45万人規模に縮小するというものです。それによると、平成11年度に単年度赤字がようやく解消。累積赤字はまだ

47億円も残り、以後徐々に縮小して行く考えです。

谷本議員は、予算特別委員会において関連質問。再建計画に併せ、遊園地内に、通年型の温水プールを建設して、幼児を含めた家族全員が楽しめる施設にイメージアップして入園者増に努めるべきではないかと追求しました。

対して市長は、土地がないのと建設コストの面から、将来的な課題ではあるが、すぐには困難であり、当面は経営側の努力を見守って行くしかないと答弁しました。



▲毎年入園者が減り続け、赤信号が点滅した呉ポートピア

精神薄弱者通所施設を実態調査—小規模作業所

平成8年2月9日、谷本議員を含む新人市議会議員4名の一行は、呉市内にある全10ヶ所の小規模作業所を視察し、その実態を調査しました。

小規模作業所は、精神薄弱者と身体障害者を併せた通所施設、精神障害者の通所施設の2種類があり、前者は養護学校を卒業された方の社会的労働を支援するために、呉市では最初昭和59年に設立。後者は、精神障害をきたして通常の職場で働くことが困難な方の受け皿として設立され、現在市内に2ヶ所あるのみです。高齢者福祉政策に比べ、心身障害者福祉は10年の遅れがみられ、精神障害者福祉は更に10年遅れています。この度ようやく政府も「障害者プラン」を策定したばかりで、精神障害者保健福祉手帳の交付も、昨年法の改正によりようやく緒についたところです。

施設の職員からは、所生の案定収入に寄与できるような仕事を市から委託を受けるか、斡旋をして欲しいとの強い要望が最も多く出されました。



▲「ひまわり実習所」で要望を聴く谷本議員(左から二人目)

誠心会活動報告

江田島・焼き肉・みかん狩りに80名が結集!!

平成7年11月19日、誠心会としては2回目の行事に当たる「家族そろってみかん狩りとジンギスカン料理!!」に、大型とマイクロの2台のバスで、谷本議員夫妻を含む約80名が参加しました。

会場となったのは、谷本議員の実家のすぐ上にある江田島町鷺部の大津農園。農園からは、江田島湾と海軍兵学校のあった海上自衛隊第一術科学校が眼下に眺望でき、テレビ局の取材も重なって、久しぶりに自然の空気を満喫しました。

下采一彦会長の挨拶の後、みかんの食べ放題と採り放題の両コースに挑戦。昼からは、新田進幹事長による乾杯の音頭

で焼き肉パーティーが始まりました。更にカラオケとビンゴゲームで宴は最高潮に達し、毎年このような行事をやって欲しいとの要望が出される中、なごり惜しむ形で帰途につきました。



▲自然とのふれあいの中で誠心会の輪も広がる

プライム

青年婦人局PRIMEが発足! — 真夏の海で初行事

平成7年5月31日、20代の未婚の女性を中心とした谷本議員後援グループが誠心会の中に青年婦人局「PRIME (プライム)」として発足。初行事として、誠心会青年局の協力を得て、同年8月5日、「夏だっ! いちばん海へ行こうっ!!」を開催しました。この日若い青年男女各々14名、計28名が、大柿町の「マリントーク瀬戸内」に集合。北崎佳恵局長による趣旨説明の後、谷本議員が挨拶し、若さをピーアールしました。その後は水泳、バーベキューを囲む懇親と続き、最後のビーチバレーでは、斉藤愛美ライム事務局長のチームが優勝しました。

プライムは、同年の呉市議会議員選挙でウグイス嬢を務めた5人の女性が呼びかけて活動を始め、若き自分達でも政治に参画できることを知り、谷本議員の人柄に触れる中で、その輪を広げたいとの思いが出発の動機となりました。



▲フレッシュ・ヤング! 21世紀が楽しみ!?

谷本誠一役職

- 呉市議会議員
- 改革派保守系会派「市民クラブ」所属
- 民生交通委員会委員
- マリノポリス対策特別委員会委員
- 「六でもない会」(新人議員の会)所属
- 呉市土地開発公社理事
- Ⓜ 呉市建設公社理事
- 呉市都市計画審議会委員
- 呉市国民健康保険運営協議会委員
- 呉市社会教育委員会委員
- 呉市公民館運営審議会委員
- 呉市小中学校通学区区域審議会委員
- 呉市日韓友好協会会員
- 曙町自治会顧問
- 呉三津田26回同期会幹事
- 江小第1期同窓会事務局長
- 呉将棋センター設立発起人会事務局長
- 呉将棋愛好会師範(四段)
- 谷本誠一将棋教室講師